

connect

つながろう・つなげよう

令和5年(2023年)

9月8日(金)発行

〒080-2475

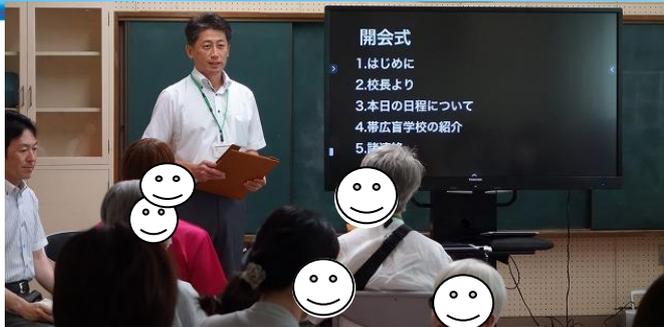
帯広市西25条南2丁目9番地1

TEL 0155(37)2028

FAX 0155(37)3768

学校ホームページ <http://www.obihiro-sb.hokkaido-c.ed.jp>

令和5年度 帯広盲学校 学校公開



31名の参加者のもと開会式で挨拶する癒師校長



体験コーナーで視覚補助具に触れる参加者の皆様



幼稚部・小学部・中学部の授業を公開し、参加者の皆様に参観していただきました。

サマースクールを初めて開催しました



サマースクールの開会式で参加者同士あいさつをしながら、短い時間でしたが親睦を深めました。

今年度の学校公開は、猛暑の中でしたが31名の方に参加いただき開催することができました。幼稚部の設定遊び、小学部・中学部の国語・算数・音楽・体育の授業を公開し、帯広盲学校の教育の様子を参観していただきました。

初めての試みであるサマースクールでは、居住地域が遠方の北見市、釧路市、弟子屈町、美幌町など道東の各地域から子ども達が集い、視覚認知トレーニングや視覚補助具活用練習、視機能評価などを行いました。短い時間でしたが、どのお子様も熱心に取り組むことができました。サマースクールの取り組みは次のウィンタースクールに引き継がれます。(文責 土屋)

屈折検査支援で校区内の各地域と「つながる」

3歳児健診は、3歳児のすべてに対して健康診査を行い、視覚、聴覚、運動、発達等の心身障害、その他疾病及び異常を早期に発見し、適切な指導を行い、心身障害の進行を未然に防止し、育児に関する指導を行い、もって幼児の健康の保持及び増進を図ることを目的とする（乳幼児に対する健康診査の実施において～一部抜粋）ものです。

本校は、3歳児健診の視覚の部分（絵指標・ランドルト環）で、新たに導入が進んでいる屈折検査の支援を行っています。6月の健診では、本校の瘡師校長が検査を担いました。前任校の札幌視覚支援学校でも屈折検査を使った相談支援を数多く行ってきていることもあり、お子様も保護者も安心して検査を受けていました。昨年度は、1年間を通して合計1028名のお子様屈折検査を行わせていただきましたが、今年度は、それを上回るペースで多くのお子様屈折検査を行っています。このような取り組みを通して地域とつながり、より地域から必要とされる盲学校となるように、このような取組を通して地域とつながっています。



【屈折検査を行う瘡師校長。保護者・お子様に安心感を持ってもらえるように丁寧に説明しています。】

視覚障がい教育の専門性を発揮し、地域と「つながる」



【本校校区内の中学校に招かれて福祉学習の講師をしました。2学期の終わりに介助歩行の学習も行います】

地域の学校から「総合的な学習」や「福祉学習」の講師依頼を受ける機会が多くあります。これまで本校が培ってきた点字指導や歩行指導などの視覚障がい教育の専門性を発揮しながら、「見えにくさ」という障がいについて理解してもらい、多様な生き方を尊重したり、人権意識が高まるように授業を行っています。